

平成30年度 第3回 保倉区地域協議会
次 第

日時：平成30年9月10日（月）午後6時～
会場：保倉地区公民館 1階 研修室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【協議事項】自主的審議事項について

4 その他

5 閉 会

自主的審議事項について(委員からの提案)

テーマ	No.	提案内容	提案理由	提案者
教育環境について	1	保倉小学校の存続について	小学校の児童数が増加の見込みのない状況下で今後の小学校の姿について検討したい。	大堀委員
	2	保倉小学校の通学バスの運行について	少子化が進む中で集落単位で1人通学の子どもの多くなる事が考えられる。保倉地区は農業地帯であり、河川、用排水路、ため池等が多くあり危険も伴うことを考えると全員が通学バスを利用できる体制としたらどうか。	宮川会長
	3	保倉地区の教育の現状と将来について	①子どもの通学(中学生・高校)に不便であり、特に高校生は交通費に係る負担が大きい。 ②小学校の統合問題・地域としての対応について検討すべきである。	渡邊委員
人口減少・少子高齢化について	4	保倉地区の人口減少について(年を取っても、保倉地区に住み続けていけるか?)	人口減少の問題は、どの地区にとっても大きな問題である。誰もが、今住んでいるところで安心して暮らしていけたらと願っていると思うが、現実は無人の家も増えている。1人になっても安心して住み続けたいと願った時、何が問題なのか?何から手をつければ良いのか?現状を再確認して取り組んでみたい。	池田委員
	5	保倉地区における少子高齢化の現状と将来について	①当地区で親に依存しないと共働きが困難である。勤務地の関係、交通事情、経済的事情(日常経費が市街地より割高である) ②子どもが成長し、親離れで当地区を離れて行く。就職先が遠方である。両親が残されて高齢化社会となる。 ③高齢化は日常生活に支障が生ずる(運転免許証返上、買い物先不便、交通費大)。	渡邊委員
地域の安全・安心について	6	保倉川流域の浸水被害の解決について	洪水警報が出るたびに、いつこの不安から解消されるのだろうという思いにかられる。一刻も早い解決に向けて検討したい。	大堀委員
	7	災害時の情報発信の在り方について	避難準備、勧告、指示が地域の防災放送にて周知されるが、いつも単調な声で具体性がない。あとは各町内の判断に委ねられる。各町内のリーダーの判断責任が重くのしかかって来る。指定避難所への交通手段や夜間の対応等、次々と不安が出てくる。最後は個人判断に任せることになると思うが、防災アドバイザー等と意見交換し、対策について検討したい。	中島委員

テーマ	No.	提案内容	提案理由	提案者
地域の安全・安心について	8	ため池決壊時のハザードマップの作成について	西日本豪雨で農業用ため池が相次いで決壊して家ごと流れるなど、ため池決壊による被害が何百ヶ所にも及んだと聞いている。私の町内にも百町歩をみたす大きなため池がある。人ごとではないと感じている。早期にハザードマップ作成の必要性を感じている。	中島委員
	9	地域消防団への支援活動について	現在、消防車、消防積載車は地元消防団以外は操作してはならないと聞いている。町内で自主防災組織があるので、消防団OBでも災害時に操作できるような対策を検討したい。	山岸委員
	10	保倉地区内の防犯対策について	先般、新潟市において小学生が殺害されるという悲惨な事件が発生した。他人事ではない。いつ何時保倉地区でも同様な事件が起こらないとも限らない。このような事件を未然に防ぐ抑止効果と、不幸にも起こってしまった事件の早期解決に向け、防犯カメラの設置や見守り活動等、保倉区の防犯対策について検討したい。	吉川副会長
地域の活性化について	11	保倉地区の活性化について	以前、「保倉地区をアピールする物は何か？」という問題を保倉小の5年生の皆さんが考えてくれた。①保倉米、②久保田農園のトマト、③白鳥の3点だったが、環境がどんどん変わる中で、保倉地区の特性をアピールしながら、活性化につなげていくにはどうしたら良いのか、考えていきたい。	池田委員
	12	保倉地区公民館南側グラウンドの有効活用について	保倉地区には、幼児、小学生等の遊び場がなく、地区外へ出て遊ばせているのが現状である。そこで、現在使用されていない保倉地区公民館南側のグラウンドに遊具（滑り台等）を置いて、子ども達に遊び場の提供を図るとともに、未使用のグラウンドの有効活用をしたらどうか。それにより、子ども達とその保護者の集いの場ができ、地区の活性化が生まれるし、徐々に地区外の人達も訪れるようになれば、地区の好感度も上がり、地区の人口増にも一役買うのではないかと思うので検討したい。	吉川副会長
	13	若い世代との意見交換について	保倉地区に住む若い世代から、保倉地区の長所、短所、改善点などを聞く場を設け、意見を取り入れることが保倉区の活性化につながる。	吉田委員